



発行責任者：歯学部長 宮崎 隆，編集責任者：広報委員長 佐藤裕二
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL 03-3784-8000
ホームページ：http://www.showa-u.ac.jp

臨床講座，診療科の再編成について 歯学部長 宮崎 隆



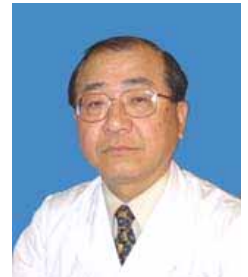
本年4月1日より、昨年6月の理事会で承認された歯学部臨床系講座の再編が正式にスタートします。従来は大学の設置基準が厳しく規定され、本歯学部も設立時にはこれに則って講座数や定員が決められました。今では大綱化により、各大学に自由度が与えられて、全国的に大胆な大講座制の導入や講座の再編が進められているのはご承知の通りです。また、本学においては10年ほど前から、人件費の高騰や学生募集人員の減少に伴い、学校法人の経営の観点から、歯学部教育職員の定員の見直しが進められてきました。

一昨年度以来、現行の講座枠内での人員削減では、将来にわたり魅力ある歯学部の運営が難しいとの判断から、理事会内に歯科病院等検討委員会が設置され、臨床系講座と診療科の再編成および定員の見直しが検討されました。その結果、別表に示すように、従来の歯内療法学講座と保存修復学講座を統合して齲蝕・歯内治療学講座、冠橋義歯学講座と有床義歯学講座を統合して歯科補綴学講座、第一口腔外科学講座と第二口腔外科学講座を統合して顎口腔疾患制御外科学講座に再編することが決まりました。これらの講座は歯学部にとっては従来から保存学、補綴学、口腔外科学という歯科の中心の学科と診療領域であり、歯学教育の中に占める比重が大きい講座であります。そして、今までの講座がそれぞれ専門性の高い教育と診療を担当してきて実績があります。今回の統合に関しましては、学部内でも議論が百出しましたが、最終的に、進行中の新カリキュラムの中で教育を協力して行う観点から大きい括りに統合することになりました。

一方、新しい診療科として、口腔リハビリテーション科、総合診療歯科、総合内科を新設することになりました。現在、診療科として麻酔科がありますが、講座に準じて学生の教育にもお力添えを頂いています。同じように、新しい診療科についても、教育病院としての歯科病院の位置づけのなかで、教育ならびに研修指導にもご尽力をお願いする予定です。

この数年は病院内の改修も含めていろいろとご迷惑をおかけすることと思いますが、歯学部職員の皆様のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

臨床講座，診療科の再編成について 歯科病院長 川和忠治



理事会で歯学部臨床系講座と歯科病院診療科の再編について検討がなされ、平成15年6月に別表に示す「歯科病院診療科再編案」が理事会で承認されました。これに従い、本年4月より正式に再編計画がスタートすることになりました。ご存じのように本学部臨床系講座においても経営状況の見直しに伴ってこれまでも教員定員の削減が実施されてきました。平成9年度に第1次削減（150名 139名、11名減）、平成10年度に第2次削減（139名 132名、7名減）、平成13年度に第3次削減（132名 117名、15名削減）が実施されました。今回の第4次削減（117名 97名、20名減）が今までの削減と異なる点は、教員定員の削減と同時に講座の統合と新設講座の開設および新設専門診療科が開設されることになったことです。

歯科病院は患者さんの立場に立った医療を提供する場であると共に卒前臨床教育、卒後臨床研修の場でもあります。そのためには従来の専門診療科の他に患者さんのニーズにあった分かり易い専門診療科と教育病院としての新設診療科を新設する必要があります。

平成15年に病院長に就任した際、次に挙げる6項目を目指してほしい旨、皆様にお願ひしました。

1. 患者さんの立場に立った安心と満足感のある医療の提供
2. う蝕と歯周病を重視した医療の推進
3. 術後の管理を重視した医療の推進
4. 確実な知識と技術に基づく高水準の医療の提供
5. 地域医療機関との連携を深め地域の歯科保健と医療の向上に貢献
6. 教育病院として次世代を担う歯科医師の育成

新しい専門診療科の一つである「お口の健康外来」を2月から前倒しして開設しました。このことは、特に1～3の項目を推進し患者さんのロイヤリティの獲得を目指したものです。すなわち、歯科衛生士としての重要な業務（行為）が目に見える形で実現することにより、患者さんの診療に対する総合的満足度を高め、本人

の継続受診と共に友人、知人を歯科病院に紹介して頂ければ新患の増加と収益が期待でき、訴訟リスクの軽減にも繋がればよいと考えております。このような点について、教職員の皆様方のご理解を得ると同時に、病院のスリム化と効率の良い診療体制を目指さなければなりません。

最後になりますが、実現しなければならぬ問題が山積しておりますが、教職員一人ずつの協力なくして組織は機能していきません。私どもの提案に対して忌憚のない意見を頂きたいと思っております。また、同時に諸般の事情もご理解の上協力をお願い致します。

歯学部臨床系講座および診療科の再編成(2004.4.1)

旧講座	新講座	新診療科	旧診療科
歯内療法学	齶蝕・歯内治療学	歯科保存科 (歯内療法・保存修復)	歯痛・外傷歯科
保存修復学			う蝕治療科
歯周病学	歯周病学	歯周病科	歯周治療科
冠橋義歯学	歯科補綴学	歯科補綴科	クラウン・リッジ科
有床義歯学			有床義歯科
第一口腔外科学	顎口腔疾患制御外科学	口腔外科	第一口腔外科
第二口腔外科学			第二口腔外科
歯科矯正学	歯科矯正学	矯正歯科	矯正歯科
小児歯科学	小児成育歯科学	小児歯科	小児歯科
高齢者歯科学	高齢者歯科学	高齢者歯科	高齢者歯科
歯科放射線学	歯科放射線学	歯科放射線科	歯科放射線科
		歯科麻酔科	歯科麻酔科
		口腔リハビリテーション科	言語・摂食嚥下リハビリ診療室
		総合診療科	総合診断室・総合診療室
		総合内科	
		新設専門診療部門	

四大学交流について

歯学部長 宮崎 隆

大学教育とりわけ医学・歯学教育を取り巻く環境が近年激変し、共用試験の導入、国家試験の改善、卒後研修制度の必修化を始め、規制緩和の行政に逆行するように新しい制度が導入されつつあります。一方で、本学を含めて各大学では独自の教育理念に基づいた教育をすべく、新しいカリキュラムを制定して教員のFDを含めて教育に力を入れています。その中で、教員のワークショップやOSCEの外部評価などを通じて、他大学の教員との交流が進められています。一方、本学医学部では6年生の臨床実習の中で、東京慈恵会医科大学や東邦大学ほかと交流プログラムを実施しています。これからは歯学部においても、学生教育における他大学との交流を進めたいと考えています。

本歯学部においては、医療系総合大学である昭和大学の環境のなかで、社会性がありチーム医療を遂行できる歯科医師の育成を目標の一つにしています。同じような目標を持つ他大学と交流を深めて、卒前・卒後の教育制度についての情報交換をするとともに、将来の学部学生、大学院生、研修医レベルの交流も目標に、昨年度以来、学部長を中心に、北海道医療大学歯学部、岩手医科大学歯学部、福岡歯科大学を順次訪問し、意見交換をしてきました。

そして、今回、2月23、24日に、昭和大学に各大学の代表者をお迎えして、四大学交流会ならびに四大学教務事務研究会(いずれも仮称)の発足準備会を開催しました。また、あわせて「歯学教育の改革と展望」というタイトルで、23日午後1号館7階講堂において、昭和歯学会講演のシンポジウムを開催しました。

当日北海道の天候が悪く、昼前に、北海道医療大学の野弘機学部長から、飛行機が欠航になったと電話があり、残念ながら北海道医療大学は参加できませんでした。シンポジウムでは、岩手医科大学歯学部教務委員長米満正実教授が「岩手大学歯学部における大学改革」と題して、また、福岡歯科大学本田武司学長が「福岡歯科大学の現状について」と題して、各大学の教員組織からカリキュラム、研究、診療にわたって詳細な紹介があり、非常に参考になりました。また、昭和大学歯学部の現状については、宮崎学部長、岡野教育委員長、立川学生部長が紹介をしました。平日の午後にも関わらず大勢の教員の参加を得て、質疑応答も活発に行われました。北海道医療大学の内容も含めて、当日の講演要旨は昭和歯学会誌に報告する予定です。

24日には、各大学の先生方を歯科病院にお連れし、病院内を教育施設を含めて紹介しました。狭いながらも、患者さんが多く非常に活気があるとの感想を頂戴しています。引き続き、旗の台の入院棟17階会議室で、岩手医科大学先進歯科医療研究センターの荒木吉馬センター長から「歯学教育を支える研究のあり方 - 岩手医大の外部評価報告から - 」と題して特別講演を頂戴しました。教育を含めて、研究評価をどのようにするかが本学部の課題でもあります。

今後できるところから交流を順次進めていくことになり、とりあえず、次年度は「昭和大学歯学教育者のためのワークショップ」に各大学からも参加者やタスクホースを募りたいと考えています。専門領域、学会活動や学外の各種委員会などで、個人レベルでもこれらの大学とおつきあいのある教員が多いと思いますので、多方面から四大学交流会が成長するようにご支援をお願い申し上げます。

平成15年度卒業式・第22回歯学部伝達式

学生部長 立川哲彦

平成15年度昭和大学卒業式が、去る3月3日(水)に医歯薬3学部の卒業生と多数のご父兄の参列のもと本学上條講堂で挙行された。歯学部歯学科の卒業生は102名であった。歯学部の総代 岩井美智さんに、細山田学長から卒業証書と学位記が授与された。また、恒例の表彰では、遠藤 優さんに上條賞、石橋洋子さん、立花紀子さん、戸田百合子さんに同窓会賞、バトミントン部の三木英暢君に上條旗ヶ岡賞、歯学体の事務主管で尽力した片岡 有君に上條旗ヶ岡賞の特別賞が授与された。卒業式が静粛に終了後、各学部に分かれて、伝達式を行った。歯学部は今年度から1号館の7階講堂を会場に、ご父兄の参列のもとに、下記の次第に従って厳粛に式を執り行い、卒業生一人一人に宮崎学部長から卒業証書を伝達した。例年、卒業式終了後、クラブ関係者が卒業生を祝福して酒を飲ませるので、伝達式の開始時刻が遅れたり、泥酔状態の卒業生が出て、伝達式の運営改善が求められていた。今年度は各クラブの部長先生の強力なご指導により、学生のマナーが改善され、気持ちの良い伝達式になった。

大学院歯学研究科学位授与式

歯学研究科運営委員長 長谷川紘司

平成15年度昭和大学大学院研究科学位授与式が、去る3月24日(水)に本学一号館で挙行された。歯学部歯学研究科の大学院修了者は17名であった。細山田学長、宮崎歯学部長からご挨拶の後、修了者一人一人に細山田学長から学位記が授与された。式終了後、指導教授を囲んで記念撮影と懇親会が開催された。



第22回歯学部謝恩会

第22期卒業生代表 謝恩会委員会委員長 北條 歩美

私達昭和大学歯学部第22期卒業生102名は3月3日に卒業を迎えることができました。これもひとえに、先生方の熱心な御指導と御父兄の皆様の暖かい御支援の賜であると感謝しております。そして去る3月23日に西新宿のパークハイアット東京にて、六年間御指導いただいた先生方に感謝の思いを込めて謝恩の会を開催させていただくことができました。簡単ですが出席した卒業生99名を代表いたしまして、この謝恩会についてご報告させていただきます。18時より行われた第一部には細山田学長、小口理事長や宮崎歯学部長をはじめ歯学部教授でいらっしゃる先生のほか、多くの先生方にご出席いただきました。第一部では先生方に感謝の気持ちを表して花束を差し上げ、今年度でご退任なさる、後藤先生、長谷川先生、芝先生のお話を伺いました。19時半より行われた第二部では、臨床実習や基礎実習でお世話になった歯科病院にお勤めの若手の先生方を中心に多くの先生方にご出席いただきました。第二部ではビンゴゲームや余興を通して先生方とお話する時間を楽しむ事ができました。

私共謝恩会委員は昨年3月より先生方にどのように感謝の気持ちを伝えるかということに重きを置いて「かける予算は半分に、かける気持ちと時間は2倍以上に」謝恩会準備を一生懸命やって参りました。至らぬ点多々あった事と思いますが、こうして謝恩の会を開催できたことをうれしく思っております。これも、卒業

生9名を中心とした総勢22名の謝恩会委員や卒業生102名全員、お手伝いしてくれた後輩のみなさん、そしてご父兄の御協力があったからであると思っております。最後に御協力いただいたすべての方に感謝の意を表すとともに、改めてお世話になった先生方に厚く御礼申し上げます。昭和大学で6年間学ぶことができたことを誇りに思っています。

診療統計(平成16年2月分)

区分	患者数	1日平均	前月1日平均	前年同月1日平均
入院患者延数	429	14.8	13.0	17.9
新入院患者数	49	1.7	1.6	2.1
退院患者数	54	1.9	1.2	1.8
外来患者延数	15,272	727.2	708.9	729.8
新患延数	1,142	54.4	52.6	58.9
病床利用率(%)	49.3	診療実日数 入院 29日		
平均在院日数(日)	9.3	外来 21日		

人の動き(2月下旬 - 3月上旬分)

新任

椎名 幸恵 (講師・有床義歯学) 2/1
 加瀬 早恵 (看護師・看護部) 2/1
 石井由美子 (看護師・看護部) 2/16
 江島 里佳 (放射線技師・放射線部) 3/1
 中納 治久 (講師・歯科矯正学) 3/1
 下平 修 (講師・高齢者歯科学) 3/1
 高場 雅之 (助手・冠橋義歯学) 3/1
 豊島 貴彦 (助手・2口外科学) 3/1
 澁澤 龍之 (助手・歯科矯正学) 3/1
 宮崎 芳和 (助手・歯科矯正学) 3/1
 山口徹太郎 (助手・歯科矯正学) 3/1
 大嶋 貴子 (助手・歯科矯正学) 3/1
 佐野 司 (兼任講師・歯科放射線学) 3/1

結婚

佐藤 京子 (看護師・看護部) 1/12
 芹澤 民和 (衛生士・看護部) 2/3

休職

松原こずえ (衛生士・看護部) 3/1 ~
 伊藤 夕 (看護師・看護部) 3/22 ~

退職

中村 和史 (薬剤師・薬局) 1/31
 平出 隆俊 (助教授・歯科矯正学) 2/29
 福永 秀樹 (講師・冠橋義歯学) 2/29
 斎藤 茂 (講師・歯科矯正学) 2/29
 佐野 司 (講師・歯科放射線学) 2/29
 橘樹 秀春 (助手・2口外科学) 2/29
 和田 康弘 (助手・歯科矯正学) 2/29
 田中 憲男 (助手・歯科矯正学) 2/29
 栗林 泰 (員外助手・歯科矯正学) 2/29

行事予定

平成16年 4月 9日(金) : 入学式
 4月10日(土) : 入寮式

